

東日本大震災により、犠牲になられた方々にご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。

また、被害にあわれた方々に、謹んでお見舞い申し上げます。1日も早い復興を、心よりお祈りいたします。

BFSニュースレター

発行者 びとファイナンシャルサービス株式会社(BFS)

2011年7月1日発行

Vo1. 26, 第26号

このニュースレターの主な掲載情報:

- グローバルな政治・経済、マーケットの最新情報や分析見通し
- BFSのサービス、実際のトピックス、ケーススタディ
- 資産運用や人生設計に役立つ情報
- 知っておくと得するホットな情報

資産運用はオーケストラがシンフォニーを奏でることに似ている。

バイオリンやピアノは、それ自身美しい音色を発して、独奏することもあります。が、ビオラやコントラバス、ティンパニー(大太鼓)など多くの楽器は、それ自身の音色で聴くことは、まずありません。ただ、それらがないとシンフォニーが演奏できなくなってしまいます。

いいシンフォニーの演奏は、たくさんの楽器それぞれが立派に役割を果たします。そして、一つひとつの楽器の音色とはまったく別物を聴いているように感じられます。楽器一つひとつが共鳴効果を発揮しているといってもよいでしょう。

これを資産運用に重ねますと、一つ一つの楽器は、内外の個別株式、債券、投資信託などの金融商品にたとえられます。それぞれの楽器がよい音色を出しながら、全体の共鳴効果で聴衆を魅了するように、資産運用でも、それぞれの金融商品が、全体のまとまりのよさや共鳴効果で資産全体(シンフォニー)を安定してよい運用成果を出す(よい演奏をする)ようにするのです。



いかがですか? 皆さんは、楽器の一つ一つでいい音色が出るかと見るように、資産運用も「この株は上がるかな」「ハイイールド債投信は、分配金がよさそうだ」「FXで小遣い稼ぎでもしようか」と個別で見えていませんか? それでは、一つひとつの楽器が一緒になって奏でるシンフォニーの音色を聴くことができないのと同じで、資産運用の本来の姿を見ることはできません。

株でも、日本だけでなく世界に投資していれば...

下のデータは、1993年から2009年末までの各4市場と4市場への均等投資の円建てでのリスクとリターンを見たものです。

リターンは日本にだけ投資していると、100万円が62万円になっていますが、4つの市場に4分の1ずつ投資していると、183万円になっています。

	日本	英国	米国	香港	4市場均等
リスク	20%	20%	18%	26%	15%
リターン (98/1を100)	62	155	233	282	183

掲著『いまこそ始めよう 外国株投資入門』より引用

ずいぶん違いますね。これも一つの分散投資の効果といえますが、もっと大事なことがあります。それが、リスクの数字です。

リスクは、日本にだけ投資しているより、4市場に投資しているほうが4分の1も低いのです。さらにここで不思議なことは、リターンは4市場の平均の数字ですが、リスクは4市場の平均(21%)ではありません。15%と平均より大幅に低くなっています。

どうしてそうなるかといいますと、4つの市場が、同じ動きをしない、あるいは日本のように(下がることにより)逆の動きをするからなのです。それにより、各市場のリスクの平均ではなく、下方向に数字が低くなるのです。

これは、いわば「4つの楽器が集まって演奏すると、お互いの音色が共鳴してあるいは調和をとりながら、全体でまったく違った音色になり、いい演奏が生まれる」ということです。4つの市場に投資することにより、別物ができる、しかもそれは、「リスクが少なく、リターンが多い」という代物なのです。

菅首相の居座りは、もっとやれ!

菅首相は、内閣不信任案否決のあと、意外な粘り腰で、辞める時期を明確にしません。民主党の幹部まで、こぞって連日「早く辞めてくれ」と迫っているのに、本人は次々に法案を出してきて、まだまだ、やる気満々です。

私、尾藤 峰男は、菅首相に「もっと、やれ!」と喝采を浴びせたい気持ちです。「そんな短い間に、首相の首を、簡単にすげ替えるな。」といたいところです。国民は、この国の難局の中、政争に明け暮れる政治屋連中に、きつと辞易していることでしょう。

たとえ凡庸な首相であっても、1年足らずで当然のように首相を引き釣りおろそうとする政治家の行動は、到底、理解できません。どうしてこんな国になってしまったのか、それは、このような政治家を選んだわれわれ国民に、責任がある事はいうまでもありません。

いまの政治状況は、まことに嘆かわしい限りですが、国民はもっと声を大にして、Noを突きつける行動が求められるところです。



今月の言葉:

(齢を重ねるにしたがい)精神力の強度は次第に衰えてゆくけれども、いわゆる「日々に新たに学ぶ」ということが、相変わらずたゆみなく打ち続き、同一のものでいつも変わった新しい姿を示すので、人生全体にいつまでも目新しい魅力をふりまくことになる。
—ショーペンハウエル



弊社から皆様への情報提供ソース:

びとうファイナンシャルサービス公式ホームページ

<http://www.bfsc.jp>

びとうファイナンシャルサービス公式ブログ

<http://ameblo.jp/bitofinancialservice/>

毎週3分で、資産運用の成功へ導くメルマガ!

<http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

書評ブログ-平日毎日更新

<http://blog.goo.ne.jp/dreamct-1>

Web サイトもご覧ください

<http://www.bfsc.jp>

発行者 びとうファイナンシャルサービス株式会社(BFS)

代表取締役 尾藤 峰男

〒105-0022

東京都港区海岸1-2-20

汐留ビルディング3階

電話: 03-6721-8386

携帯: 090-4934-3121

FAX: 050-3156-1072

電子メール: info@bfsc.jp

第6回『人生を安心して生きるための金融資産運用セミナー』開催のご案内!

～参加無料 限定10名～

日時: 2011年7月23日(土) 15:00～17:00

場所: TKP東京駅丸の内会議室ミーティングルームC

(日比谷帝劇ビル地下1階) <http://tkpteigeki.net/access/index.shtml>

(最寄り駅: 有楽町・日比谷駅)

講師: 尾藤 峰男 びとうファイナンシャルサービス代表取締役

お申し込みは、下記メールまたは電話にて「7月23日セミナー参加希望」として、お名前、年齢、ご連絡先をお知らせください。

Eメール: info@bfsc.jp

Tel: 03-6721-8386

お客様の人生に豊かさを、心に安心とゆとりを
—びとうファイナンシャルサービスの大切な役割

私は、ハーフマラソンをこうやって走っています。-No.2

前月号は、ハーフマラソンの私なりの走り方のNo.1として、走る前のストレッチのところまでお話ししました。では、いよいよ21.1キロ(正確にはこれより2.5メートル短い)の走りの段階に入っていきます。21キロという長いと感じるでしょうが、走っていると、結構あっという間です。しかしながら、走りながらも、体の調子は、絶えず耳を澄まして聞いているといったところです。

走り出しのペースが全体のペースを決める

ひとによって、ここは違いがあると思いますが、私の場合、この傾向が強いようです。多少無理して早いペースで走っていると、けっこう最後までそのペースを保てるのです。

腕の振りが大事

走るのは足で走ると思っていると、これが間違いで、体全体で走るというのが、正しいイメージです。体全体をバランスよく動かすために、腕の振りを意識してよくする、もう少しいいいますと、左右の肩甲骨を交互に背骨の方に寄せて、腕を後ろに引くのが正しい腕の振り方だそうです。すると、骨盤が前に出て、自然に足が前に出る、そして、余計な力を使わずに走れるということになるわけです。

骨盤を前傾させ、重心を前に

骨盤を前傾させれば、重心が自然に前に行き、楽に歩を進めることができます。少しでも楽に走

るために、ある面では、絶えず意識して効率的な走りを心がけることが大事です。

走りながらの呼吸法も、大事

私が走りながら意識して気を使っているのが、呼吸法です。血液に酸素を送ることは大変大事です。呼吸法を意識しないで走っていると、走るためのエネルギー切れで、脱力感を感じることがあります。こうなるまえに早めに、体に酸素を補給してあげることにより、活力を保てると感じています。その呼吸法は「吐いて、吸う」ということです。この順番が大事です。「吸って、吐く」ではありません。そして、このピッチを上げたり下げたりして、酸素を体内に入れるのです。こうすることで、多少無理して走っても、結構体力を保てるのです。

水分補給は忘れずに

これまで、水分補給で失敗した経験はありませんが、一定距離で(たとえば、5キロ単位、10キロ単位)スポーツドリンクなどの水分補給は、大事でしょう。特に気温が高いとき、蒸し暑い時などの水分補給は、欠かせません。

こんなことを意識しながら走っていると、もうゴールです。ぜひ、ハーフマラソンを一つの目標にして、ランニングを始めてみませんか。

